



JR東労組 八王子

H A C H I O J I



ホームページ

発行責任者  
執行委員長 針谷 歩

2021/3/1 No.28

2021年2月1日提出  
八地申第21号  
2月25日開催  
その2

## 安全な八王子駅輸送業務を構築 するための申し入れ交渉開催！

5. ライフサイクル深度化で異動した社員が現在も在籍しているので、制度の趣旨に基づき安全意識の向上と技術・技能継承を強固なものとするため、作業ダイヤを作成するにあたっては、現場社員の意見を反映させ、安全な八王子駅輸送体制にすること。

組合：ライフサイクル深度化制度は2020年3月をもって終了したが、あと2年は在籍している。運輸のプロである。技術継承も考えると、もっとライフサイクル深度化社員を輸送業務で活用すべきでは？今回の作業ダイヤについては現場社員の意見を支社として把握しているのか。他支社では不安な意見に対して自由闊達に意見を言えない雰囲気を作られパワハラにもつながっていると聞く。

会社：作業ダイヤを作成する上での社員の意見を支社としては把握していないが、社員の意見を聞いて作業ダイヤは作成している。技術継承は重要な課題であることは十分承知している。

→若手社員への技術継承は急務な課題との認識は一致。再度、作業ダイヤは社員の意見を聞きつつ、改善していくことを確認。

6. ライフサイクル深度化・ジョブローテーション運用については、本部・本社間の議事録・覚書を遵守し、キャリアプランならびに生活設計もあるので、異動に伴う事前通知などは、余裕をもって行うこと。

組合：就業規則に則りと回答しているが、議事録について問いている。回答になっていない。労働協約・協定の問題である。

会社：異動の関係についての回答をした。本部・本社間の議事録は守っている。

→本部・本社間の議事録・覚書を守っていることを確認。

(参考・ジョブローテーション議事録：2020年4月1日時点においてライフサイクル深度化で異動している東労組組合員は従前の取り扱いとする。)

7. 今後、問題が発生した際は、労使議論により問題解決を図ること。

組合：様々な課題が山積している中で2期連続赤字を出さないためにも、労使議論で克服していきたい。

会社：具体的な提起があれば「労使間の取り扱いに関する協約」に則り取り扱う。

→「労使間の取り扱いに関する協約」に則り取り扱うことを確認。

**全項目終了！**

ホームの安全を守るためにしっかりと検証していこう！現場の状況を熟知した組合員の意見を反映させ、安全で働きがいのもてる八王子駅輸送体制と作業ダイヤをつくらそう！

